



令和元年10月8日

## 令和元年台風第15号に伴う広域支援について

～千葉県の実災地で活動した散水車がすべて帰還～

北海道開発局では、台風第15号に伴う千葉県の被災地で給水支援をするため、散水車(給水装置付)を派遣していましたが、10月4日までにすべて帰還しました。別紙のとおり被災地での支援状況をお知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 防災課 災害対策管理官 横濱 秀明(内線5954)

事業振興部 防災課 課長補佐 鈴木 武彦(内線5942)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>





# 令和元年台風第15号に伴う広域支援について

北海道開発局では台風第15号に伴い断水被害が生じた千葉県の被災地に、散水車（給水装置付）11台を広域派遣し、延べ9日間（令和元年9月14日～22日）にわたり給水支援を実施しました。

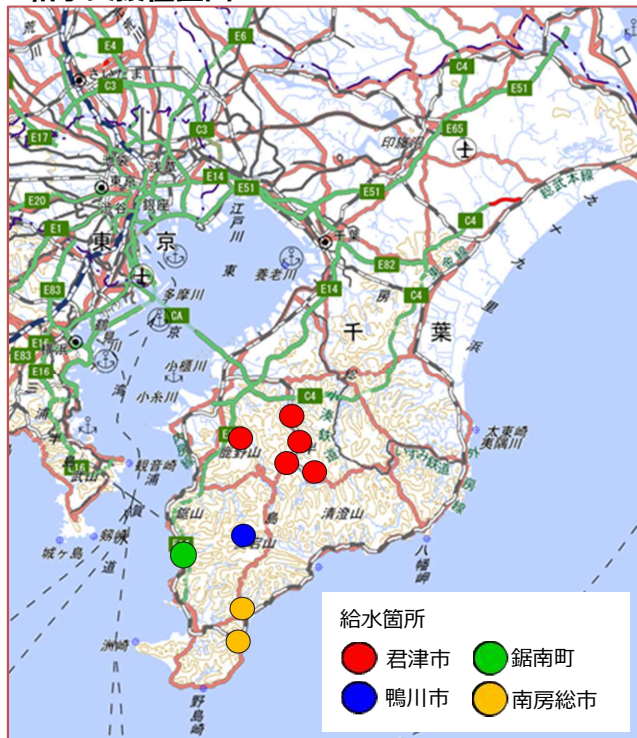
## ■ 給水支援概要

- 給水支援期間  
令和元年9月14日～22日（延べ9日間）
- 派遣台数 11台
- 給水支援箇所  
君津市（上総地域交流センター、小櫃公民館、小糸公民館、松丘コミュニティセンター、亀山コミュニティセンター）、鋸南町（鋸南町役場）、鴨川市（大山公民館）、南房総市（丸山公民館、ちくら介護予防センターゆらり）

## ■ 9/14 関東技術事務所船橋防災センターにて打合せ、給水支援に出発



## ■ 給水支援位置図



## ■ 9/15給水支援状況① (君津市亀山コミュニティセンター)



## ■ 9/16給水支援状況②(君津市小糸公民館)



## 機 械 概 要

### 散水車（給水装置付）



本機械は、国道の散水作業に使用する散水車に給水装置を搭載することにより、給水活動にも利用できる構造となっているほか、各種施設の給水タンクなどに水を圧送する機能も備えています。近年では、H30年に安平町・厚真町からの要請を受け、町内各所の給水所に対し給水活動を行いました。

- 車両の規格（例）
- 全長：7.8m
- 全幅：2.5m
- 全高：3.0m
- 車両総重量：13.0t
- タンク容量：6300L
- タンク内面：ステンレス鋼板

ポンプにより10階程度の高さまで水を圧送することができます。

全道配備台数：18台（H31.4月現在）